



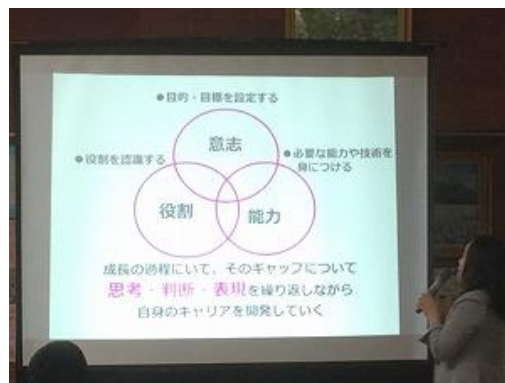
# 「全てが必然」

## 学校に会社を設立・・・

6月から2年生が「起業体験プロジェクト」、簡単に説明すると会社を設立し、商品開発や販売に約1年間かけて取り組んでいこうとする壮大な計画をスタートさせています。昨年度、3年生が始めた「IGUSAラケット大会」に刺激を受け、自ら起業して早島町を盛り上げていこうというわけです。進むべき地図もなく、前途多難ではありますが、生徒も教員もやる気満々です。壁にぶつかることもあるとは思いますが、楽しみながら学習に取り組んでいきたいと思えます。生徒が地域の様々な場所に出かけていきます。地域の皆様、企業の皆様、何卒温かくご支援ください。よろしくお願いたします。大事なことをお伝えしておきます。会社名は「HAYAGUSA國府ポレーション」です。HAYAGUSAはHAYASHIMA（早島）とIGUSA（い草）から、國府ポレーションはコーポレーションと2年主任の國府（こう）をかけあわせて命名しています。生徒のアイデアはおもしろいです。今後の発想に期待できそうです。



企業の方の特別授業



「意識を変え、行動を変え、人生を変えていく」

## 今、自分たちにできることは・・・

西日本豪雨で甚大な被害が出始めてから1週間が経過し、被災地での犠牲者は200人を超えたとの報道がなされています。被害にあわれた全ての方々に心よりお見舞い申し上げます。

生徒たちはこの度の災害で被災された方々を支援するため、7月13日から義援金を送ろうと活動を始めました。今自分たちに何ができるのかを考え、少しでも手助けしたいという思いから急遽取組をスターさせています。生徒はあっという間に呼びかけのチラシやポスターを作り、募金箱を設置しました。

生徒への呼びかけでなく、先日は保護者懇談でも呼びかけをさせていただきました。ご協力をいただいた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

19日の終業式まで活動を行い、取りまとめをして、関係団体へ送付していきたいと思えます。



また、毎年行われている夏のボランティア活動にも本校の生徒が150名程度参加する予定です。町内の幼稚園・保育園、デイサービスセンターなど、様々な場所に出かけていき、活動を行います。14日（土）には、そのための事前説明会が本校のランチルームで行われました。



開会にあたり、早島町社会福祉協議会の長鋪健会長からボランティア活動は「自発的、福祉的、無償性」の3つが大原則であることをお話しいただき、学生の力がとても大きいと励ましの言葉をいただきました。続いて、岡山後楽館高校の室貴由貴教頭先生の講話では、「ボランティアを行う上で大事なことは何だと思えますか」と尋ねられ、生徒は「相手を思いやる気持ち」などと発表しましたが、先生から次のようなお話をいただきました。

誰かに「背中が痒い」と言われたら、搔いてあげればよいのだが、痒い場所は相手の話をよく聞かなければ相手の搔いてほしい場所にたどりつけない。つまり、まずは相手の話をよく聞くことがボランティアを行う上で大事なことなんだと教えていただきました。誰のための活動なのか、独りよがりにならず、相手の話をよく聞く。このことは、ボランティアだけでなく、普段の生活においても大事なことに思えます。最近ではプレゼンテーション能力等の発信する力が大事であるとよく言われていますが、人の話を聞かなければ相手のニーズに応じたプレゼンテーションはできません。ボランティア当日、学んだことを生かして活動してくれることを期待します。

素敵な笑顔に会えるといいですね！

### 流郷先生、産休に・・・

ご報告が遅くなりましたが、主に1年生の国語を担当していた流郷扶巳先生が7月4日から産休に入りました。そのため、引継期間を含めて7月2日から昨年度まで本校で勤務していた三宅琴子先生が産休代員としてお勤めいただいています。

流郷先生の後任としてお世話になります。三宅琴子と申します。いろいろとご迷惑をおかけすることかあると思っております。一生懸命頑張りますので、よろしくお願ひします。